

研究の実施に関してポスター、ホームページ等により公表する文章

研究課題名：「膵胆道術後の肝外肝動脈出血に対する IVR（経カテーテル的治療）：救命率と救命に寄与する因子についての後方視的研究」

1、【対象】当院、放射線科において2005年1月～2011年12月に膵胆道術後の肝外肝動脈出血に対する IVR（経カテーテル的治療）が行われた方が対象となります。

## 2、【研究機関名】

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

先進治療科学専攻腫瘍学講座 放射線診断治療学分野

3、【目的】本研究は日本全国の有志の放射線科が協力して全国調査を行い、膵胆道術後の肝外肝動脈出血に対する IVR（経カテーテル的治療）の本邦における現状を把握し、IVRにおける救命率を調査します。今回調査では救命率と特に救命率に与える因子の影響を検討し、患者さんの治療成績の向上に役立てることを目的とします。

## 4、【方法】

①膵胆道術後の肝外肝動脈出血に対する IVR（経カテーテル的治療）を施行した患者さんの術式、出血の種類、検査所見、画像所見、IVR手技、手技後の結果を評価します。

②各施設で上記の項目について調査票の記入を行い、代表施設である広島大学放射線科と協力してデータの解析を行います。

## 5、【意義】

本研究により膵胆道術後の肝外肝動脈出血に対する IVR（経カテーテル的治療）の役割が評価でき、IVRのより正確な治療適応の確立に役立てることができると期待されます。

## 6、【個人情報の扱い】

調査結果の発表や出版に関しては個人が特定されるような情報は掲載しません。また得られた資料は研究計画書に記載した以外の研究には使用しません。個人情報は鍵のかかる保管庫で管理し、研究終了後に破棄します。

## 7、【問い合わせ先】

鹿児島大学大学医学部・歯学部附属病院

放射線診療センター（放射線科）

助教 林 完勇

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目3番1号

Tel 099-275-5417 Fax 099-265-1106

<http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~radiol/ippan/kenkyu.html>